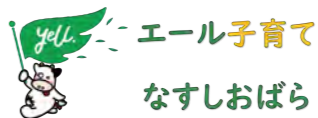


# 子育ての不安に

## 心強いミカタ

子育て中の不安や悩みの原因は、育て方だけで解決できるものばかりではありません。そんなときに一緒に考え、子育てに寄り添う心強いミカタが身近にいます。



### 次につなぐサポートを

子ども・子育て総合センターは、児童家庭相談や発達支援に関する相談、婦人相談など、子育て世代の家庭生活や子どもに関わる支援を行っています。多岐にわたる相談に対応できるよう、家庭相談員や母子父子自立支援員、保健師、保育士、教員などの専門職員が常動しています。市では、平成28年度から、子どもの気になることや心配なことなどがあつたときに、早期から適切な支援が受けられるよう、子どもにとって必要な支援の情報を次の支援者に切れ目なくつないでいく「発達支援システム」という仕組みを導入してい

ます。発達支援システムでは、最初に保護者から、子どものこれまでの成長過程や得意なこと・苦手なこと、保護者が子どもに対して気になっていること、保護者が思う将来の子どもへの願いなどの話を伺います。伺った内容は、保護者の同意の下、子どもが所属している園や学校の先生をはじめ、福祉施設や医療機関の相談員など地域の関係機関と情報を共有します。そして、子どもがより良い環境で生活していくにはどうしたらいいか、どのような支援が適切かなどを、それぞれのライフステージでの支援者が保護者とともに考えていけるよ



子ども・子育て総合センター 菊池 紀男 所長

うなサポートをします。

子育ての大変さは、誰もが感じるものだと思います。当センターは、何か子どもへの不安や悩み、気になることがあるときに、少しでも保護者に安心感を与えられるような場所になりたいと考えています。

### 「困りごと」に寄り添う

保護者からは、お子さんとの関わり方をはじめ、「新しい環境にうまくなじめるか」、「子どもの困り感に配慮してもらえるか」、「園や学校でどのような支援が受けられるのか」、「現在の支援を切れ目なく受けられるのか」など、子どもが新たなライフステージに進むことで生じる保護者の心配や子どもへの気になることについての質問をよく聞きます。また、すでに必要な支援を受けている子どもの保護者からは、「子どもの将来のためにこれからの支援を考えたい」、「子どもの自立や社会参加のために今から何をしたらいいか」な

ど、子どもの少し先の将来を見据えた相談も受けています。今まで相談を受けてきた中で感じていることは、子どもが困っていることや気になることが「これまでの育て方のせいではないか」と自分を責めたり、子どもの苦手なところを理解してもらえず、誰にも相談できない辛い気持ちを抱えてきたりした保護者が多いということです。

ではありません。

「私たちが考える『発達支援』は、『発達に課題があるから支援をする』というものではなく、まずは子どもをしっかりと理解し、誰でも抱える『困りごと』に、どのように寄り添って関わっていくかを考えていくことだと思っています。そして、この地域で育っていく子どもたちが、それぞれに自信を持って自立や社会参加ができるようにサポートすることが、当センターの役割だと思っています。

もし、子どもに対して気になることがあれば、まずは相談してください。独りで悩まず、私たちと一緒に考えていきましょう。

子ども・子育て総合センターの皆さん

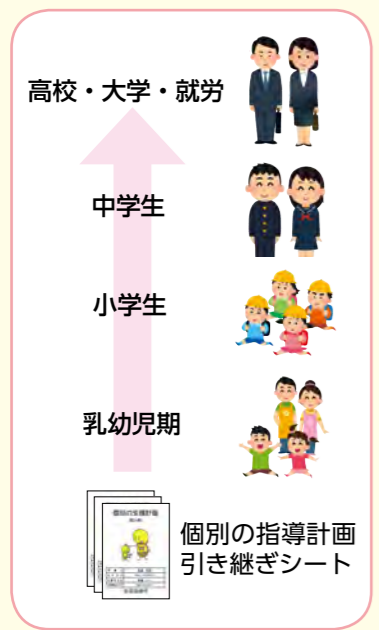


### 紹介します

## 発達支援システム

発達支援システムは、子どもの気になることや心配なことについて、早い時期から適切な支援が受けられるように、教育や福祉などの関係機関と連携し、子どもにとって必要な支援を切れ目なくつないでいく仕組みです。

園や学校などで作成する個別の指導計画や引き継ぎシートを、次の支援者につなぎます。



この仕組みにより、早期に子どもの持つ特性や気になることを共有することで、将来的に子どもの社会参加や自立を目指しています。詳細は市ホームページで確認してください。



▶ 問い合わせ  
園子ども・子育て総合センター  
☎0287(46)5538